MARITIME　INTERNATIONAL 2015　　第２号　2015/6/12

〈東京都立大島海洋国際高等学校　　TEL:04992-4-0385　FAX:04992-4-1764〉
メールアドレス：S8000531@section.metro.tokyo.jp
HP アドレス：http://www.osima-kaiyokokusai-h.metro.tokyo.jp/index.html

3年海洋系　航海学習
～沖縄･小笠原～

前回の帰省期間後、３年生海洋系２次乗船も、台風の関係で小笠原に先に寄港し、その後沖縄という航海にはなりましたが、無事に航海学習を終えることが出来ました。以下に生徒の乗船後の感想文を掲載します。

３年Ｂ組　市東　智明

３年海洋系乗船実習を終えて、この実習は想像以上に厳しいものであり、とても良い経験となるものでした。自分は将来、航海士として船舶の運航に携わりたいと考えています。そのため、この乗船実習で船員としての責任や役割、仕事を間近に自分の身をもって体験したいと思っていました。

しかし、二年海洋系国際航海は予定通りには実施されない事態が起こってしまいました。自分は、人生がかかったこの乗船実習をなんとか実施していただけるよう、生徒代表として署名活動などを行い、東京都に働きかけを行いました。その結果、先生方や都の職員の方々が自分達に乗船実習を与えていただくことができました。自分は、ここまで行動を起こし、実現できた航海学習だったので、一年生のころよりも二倍も三倍も乗船にかける思いは大きかったです。この乗船実習で経験したことは一生の宝であり、今後の人生を決める大きな分岐点であると自分の中で乗船実習に向けた心構えをしました。

そして、念願の乗船実習が始まりました。今まで経験したことのない４時間ワッチがいきなり入り、最初は分からないことだらけで、船員さんに注意される日々が続きました。自分は船酔いをするので、毎日酔いながらも、自分に与えられた義務と責任を全うしようと必死の毎日を過ごしました。そのような日々を乗り越え、沖縄に入港し、それまでの反省を仲間と共有しあいました。その日の反省会だけで、３０項目もの反省が出ました。しかし、自分たちの目標としてあげた「失敗を失敗で終わらせない」という考えに沿って、次回に向けた改善点も出し合い、仲間と協力し合うことの大切さを学びました。沖縄を出港する直前に教官から、このままでは小笠原に行かせることが出来ないと言われました。理由は、上陸などをして、自分たちに気の緩みが出て

いたからです。それではいけないと実感し、みんなで集まり反省会を開き、もう一度全員の乗船に向けた思いを再確認し、今後どのように行動していくかを二時間じっくり話し合い、みんなで決めた決意を教官に話しました。そして、小笠原へ向け、予定通りの航海を続けることが出来ました。

小笠原までの航海では、一人一人が次の行動を予想し、行動できるようになってきたので、注意されることも少なくなり、ようやく自分たちで行う実習を作り上げていくようになりました。人に何かを言われてから行動するという考えを捨て、自ら考え行動するという考え方が自分たちの中に芽生えてきたのだと思います。小笠原に到着し、再び反省会を開いた時には、全員が積極的になっていて、たくさんの意見や反省が出ることにより、自らを磨き上げていくようになりました。

そして、大島へ向け出港し、今まで学んできたことを存分に発揮する機会がやってきました。今まで注意されたり、みんなで話し合った反省を一字一句書き留めたメモ帳を見返し、それぞれの課業に全力で取り組み、自分たちで２４時間、舵を握り船を走らせることが出来ました。そして無事に、何事もなく波浮港に帰ってくることが出来ました。

改めて乗船実習を振り返ってみると、自分たちは明らかに変わったなと思います。この乗船実習を通して、責任と義務を全うすることの大切さや、自主性、そして校訓でもある、誠実・礼節・協力を学び、身につけました。このような経験は、決して普段の授業ではできないものであると思います。乗船に代わる授業はないと改めて実感しました。また、自分の将来について真剣に向き合うことができ、自分は、一人前の立派な船員になろうと固く決心することが出来ました。

このようなとても貴重な経験を与えてくださった先生方や船員の方々を始め、多くの人に感謝したいと思います。そして、次の観測航海に向けて、自分にできる最大の準備を整えたいと思います。

３年Ｂ組　狛　巧己

今回、乗船実習を通して、様々なことをまなびました。初日の乗船式で磯部君が宣言してくれた自分たちの目標の一つでもある協力は、特に皆で深められたと思っています。

基礎航海以来の乗船で、皆緊張しながらも楽しみにしていた乗船でした。初めてのワッチでは船員さんに厳しく指摘されながらも、それを活かし、よりよい航海を目指し、班だけでなく、生徒全員での反省の場を設け、皆で取り組みました。また、気象庁の方の気象

観測の講義もあり、より理解の深いものとなりました。

台風接近のため、小笠原での接岸が先になりましたが、小笠原はすごく楽しかったです。ダイビングでは、これまでに見たことがないくらい海は美しかったです。小笠原の歴史にも触れ、とても良い経験となりました。

沖縄では戦争の歴史を見て回って、改めて戦争の恐ろしさを痛感しました。沖縄でもダイビングと自由上陸をし、みんなでリフレッシュしてその後の航海に臨みました。

今回の航海では台風接近にもかかわらず、揺れることが少なかったのですが、多々酔うことがありましたが、皆で助け合って皆の仕事に取り組みました。仕事を覚えるにつれて、皆の中でどこか気の抜けていると指摘を受けることがありましたが、声を掛け合い、やり切れたと感じています。

寮生活よりも濃い集団生活を通して、皆得るものは大きかったと思います。自分は目標に、「何かを得る」という漠然とした目標をあげていましたが、全力で取り組むことで得た、協力することの大切さ、自分の話す言葉の重要性、言葉にはできない、大きなものを得ました。

これらを今後の人生の糧とし、活かしていきたいと考えています。本当に１８日間ありがとうございました。

安全指導の日

５月９日（土）、平成７年５月１３日に起きた海難事故を繰り返さないため、安全指導の集会が行われました。当時を知る教員からの説明の後、校門脇にある慰霊碑の前で碑文の朗読と黙祷をしました。

第一学年大島南部散策
～K･M･T　海国ミッションツアー～

５月２３日（土）　第一学年総合的な学習の時間と日本文化の時間に「地域理解学習」として、学校周辺の散策をしました。途中、いろいろな課題をこなしつつ、親睦も深めました。地域の方々にはご協力いただき、ありがとうございました。

第一学年大島南部散策　～写真続き～

1年　基礎航海学習

Ｂ組１次乗船　６月１日～　６日
Ｂ組２次乗船　　６日～１１日
Ａ組３次乗船　　１７日～２２日
Ａ組４次乗船　　２２日～２７日

上記の予定で基礎航海学習を行っています。乗船期間には、東京、横浜、館山と航海し、大島へ戻ってきます。初めての航海で、覚えることがたくさんありますが、みんな頑張ってくれていると思います。

古本の提供にご協力下さい！

図書委員会では、例年学校祭で行われる古本市で販売する古本の提供をお願いしています。本はどのような物でも構いません。お手元にいらなくなった本やマンガがありましたら、ぜひご提供下さい(雑誌不可)。また、誠に勝手ながら送料はご負担下さいますようお願いいたします。

島内の方で多数ご寄付いただける場合、こちらからお宅まで引き取りに伺います。下記の電話番号にご連絡下さい。(写真は一昨年の様子です)

古　本　送　付　先

〒100-0211　東京都大島町差木地字下原
東京都立大島海洋国際高等学校　図書委員会古本市係(担当：西村)
TEL 04992-4-0385

古本市の売上は、「大島町移動図書館車ひまわり号」および島内中学校に全額寄付します。古本市は皆様が寄付してくださった本のおかげで継続しています。古本の提供にご協力下さい。よろしくお願いします。　　都立大島海洋国際高等学校　図書委員会